日刊 建設タイムズ
（第三種郵便物認可）

県コンクリート製品協同組合

第7回試験・検査員養成セミナー

新規7人らが技術習得

千葉県コンクリート製品協同組合（花澤長文理事長）の技術委員会（花澤耕一委員長）の主催による「第7回試験・検査員養成セミナー」が今月9日、山武郡横芝光町の㈱林建材試験室で行われ、組合員12人が受講。今回の新規受講者は7人で、講習修了者の資格更新が5人。修了者には、組合から力量を証明する修了証（3年更新）を交付した。

開講に先立ちあいさつした花澤委員長は、自身が技術向上認定検査員に赴いた時に比べて「技術・品質と年々レベルアップしている」と述べた氏は、受講者に対し「より正確に速く製品検査ができるように腕を磨くことは重要なこと。この講習会を通じ、改めて基本を確認してもらい、間違った認識のないように、しっかりと基礎を学んで帰ってほしい」と呼びかけた。

同セミナーは、2005年10月の新JISへの移行に伴い、「JISQ17025適合性確認要領―プレキャストコンクリート製品―の要求事項」や「5・2要員の定め」に対応するため、各工場で製品試験や検査に携わる要員の養成と力量アップに向けて、コンクリート製品の試験・検査の実施に必要な知識・技術・判断力を習得。さらに、各工場の「品質管理の均一化」により高品質を維持し、組合全体のレベルアップを図ることが目的。今回の講師は、同組合技術委員会の伊藤進副委員長（㈱林建材）と中村慶一委員（㈱テラコン）、浅野吉朗委員（千葉コンクリート㈱）が務めた。

注意点など交え 寸法検査など実践

今回のセミナーは、座学による「JISQ17025」の試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項と、組合規格による検査の概要（検査項目、検査ロット、検査方法）に加え、実技として、①外観検査（ひび割れ、欠け、きず、トレモロ、気泡、反り、ねじれなど）②形状・寸法検査（各種寸法測定）③製品の曲げ強度試験（試験機）④鉄筋位置（かぶり）の確認――を3人1組で受講した。

同セミナーを新規で受講した伊藤秀典氏（㈲三滝コンクリート工業）は、今回の講義について「自分が思っていた以上に寸法検査の測定値が細かいなど、初めての受講でわからない点や不安も多かったが、受講してみて良い勉強になった」と感想を述べた。伊藤氏は、この仕事に就いて5年目。主に製造を担当しているため、検査や試験に立ち会うのはこの日が初めてだったという。

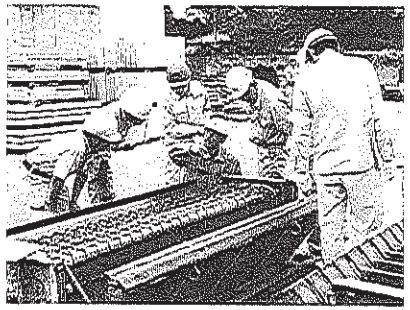
また、セミナーの最後には、講師を務めた伊藤副委員長が受講者に対し「今日やったこと忘れず維持できるようにしてもらいたい」と呼びかけ、講評とした。

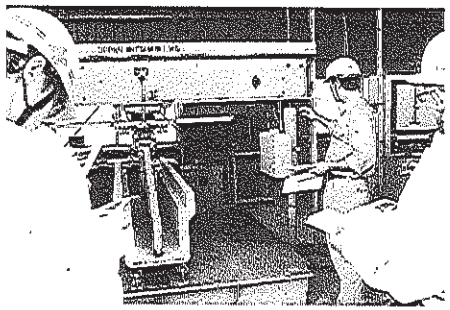
【第7回試験・検査員養成セミナー受講者】

▽平間誠（千葉窯業㈱）▽古川雅規（㈲古川コンクリート工業所）▽井上忠夫（㈲三滝コンクリート工業）▽伊藤秀典（同）▽藤森直樹（北村コンクリート工業㈱）▽鈴木和浩（平野コンクリート工業㈱）▽滝田雅義（小川建材工業㈱）▽川島進（京相製管㈱）▽伊藤裕介（日新コンクリート工業㈲）▽和島義明（時田コンクリート工業㈱）▽草間光男（共栄建材工業㈱）▽吉岡恵一（吉岡コンクリート工業㈱）

あいさつする花澤委員長

新規受講者の伊藤氏（㈲三滝コンクリート工業）


鉄筋位置の確認


製品の曲げ強度試験を見学

ちばぎん総研／五輪の経済波及効果

県内需要推計852億円

変化要因で最大1247億円

する見通しで、この消費から誘発される千葉県への経済波及効果（県内での生産・サービス誘発額）は201億円と推計した。

また、東京都での施設整備費（3557億円）がもたらす経済波及効果は、千葉県事業者による建設受注

ング会場では、ピックマリーナットハーバー区）への変更を

この2つの変まえると、①施10％増加した場円）＋セーリン葉県で開催され

（一社）

「お年

20

（一社）千葉

では、鳶の伝統「纏振り」「梯遣り」などの千葉県鳶伝統千葉県連合若隆会長）が中会を開き、伝鑽を積んでい

この伝統文化希薄になりつつ合い」という切さを改めて見に、「一つの協力し、達成する」ことを会するため、老訪問して日頃の

人との交流を職の社会的地位るという。これ祉施設を対象と動は、県内各地行われてきたが会が社団法人化6年からは、組年実施。1日に を回り、鳶の伝じてお年寄りに続けている。

この日の演技よる木遣りに鳶が纏振りで後、梯子乗りを乗りに使う高さ